

第4回養老町子ども議会を開催

令和2年11月25日 午後4時より 養老町役場4階議事堂において

第4回養老町子ども議会が養老町役場議事堂で、開催された。

高田・東部両中学校の3年1名ずつが議長となり、また、各クラスの代表2名ずつ合計14名が議員になり、養老町の将来について自分たちの考えを提案発表した。生徒は「ふるさと養老テキスト」の学習を通して学んだことや、身近な課題に目を向け、調査・研究してきた。



今年には新型コロナウイルス感染症防止のため、各中学校2年生の生徒及び先生は、議場の傍聴席で間隔を開けて傍聴をし、保護者及び議員は、4階大会議室でライブ映像により傍聴した。

中学生は各クラスで話し合いを重ね、まとめた意見や提案を発表した。それに対し、町の担当課より現在取り組んでいることを踏まえ、参考にできることなど感想を述べた。

どの生徒も緊張しながらも、自分たちで作成したPR動画やパンフレット、実現した場合の例などをプレゼンし、元気に堂々と発表された。また中学生らしく柔軟な発想で、分かりやすい内容のものであった。



中学生の主な意見・提案

- ・観光コーナーを設け、PR動画や紙芝居で養老町の魅力を発信
- ・高田商店街をアートの町にする
- ・観光パンフ、モデルコースの提案
- ・養老のブランド力を高めるために、アンテナショップを設置
- ・養老応援CMを作成
- ・空き家活用として古民家カフェを

中学生の感想

- ・大好きな養老町をより良くするために、少し役に立たなかもいけないと嬉しく思った。機会があれば議会を傍聴してみたい。
- ・提案したことが現実となり養老町が活性化すれば良いなと思う。
- ・今後の養老町を担う私たちが今の問題と向き合い、様々な角度から問題解決することはとても重要なことだ。

・養老町生活体験ツアーを開催

- ・養老鉄道にポイント制度を提案
- ・養老憩いステーションを南海トラフ地震に備えてお年寄りが豊かに暮らせる町にするために、小学生がお年寄りに手紙を送る
- ・三世代交流の場の充実など



あれからどうなったんやあ〜 シリーズ 97

このシリーズは、過去の定例会（今回は令和元年12月議会）での一般質問に関して、その後の状況をお知らせするものです。

問 「公共施設トイレの洋式化は」

個別施設の修繕計画で進める

こうなりました

公共施設については、それぞれの施設毎の個別施設修繕計画に基づき、トイレの洋式化を含め、計画的な施設改修・修繕を進めております。

役場本庁舎を含む一部の公共施設については、新型コロナウイルス感染症対策として改修工事を行っており、本年度内に改修されます。その他の施設については、各個別施設計画に基づき、順次改修工事を行う予定です。

本年度内に改修される公共施設

- ・養老町役場本庁舎
- ・養老町総合体育館（一部）
- ・高田公民館（一部）
- ・広幡公民館（一部）
- ・日吉公民館（一部）
- ・養老こども園
- ・広幡こども園
- ・船附こども園
- ・日吉こども園南園舎



役場本庁舎4階多目的トイレ

議会に対しての意見

シリーズ 35

このシリーズは、町内の各種団体の代表や副代表等の方へ、編集委員が意見をお聞きし、その記事を掲載するものです。

住民の声

（町内在住 Y・Wさん）
二元代表制の一翼を担う議会が、その役割を十分に果たすためには、幅広い人材を確保できるように、幅広の必要がある。また、その構成員は地域住民の多種多様の中から選出され、議会を構成することが重要であると考えます。しかしながら、現状の議員報酬額では、子育て世代は生計を立てて行くには困難な水準であり、多くの議員が年金受給者や自営業者・農業者に偏る一因である。そこで、議員定数を二割程度削減し、議員報酬額を町職員の中堅クラスまで引き上げ、専業として議員報酬のみで生活が維持できる必要がある。町の行政が複雑化・専門化する中で、兼業議員ではなく専業議員が必要であり、住民が議員と共に政策論議に参画できる集中専門型議会が望ましいと考えます。運営方法として、議会参画員を活用したタウンミーティングが最適であると考えます。

